

DVDナビシステム

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

本機の接続コードの色は、JEITA*コードカラーに準拠しています。

* JEITAは、日本電子機械工業会の略称です。

販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この「取り付けと接続」は、必ずお客様へご返却ください。



NVX-DV739

Sony Corporation ©2002 Printed in Japan

目次

⚠警告 安全のために	2
付属部品の確認	4
取付場所の確認	6
1 ナビ本体を取り付ける	7
2 TVチューナーユニットを取り付ける	10
3 ナビ本体と接続する	11
4 TVチューナーユニットと接続する	11
5 リモコンを取り付ける	12
別売機器との接続について	12
各コードの接続について	13
6 車両側と接続する(接続図全体)	14
7 GPSアンテナを取り付ける	16
8 TVアンテナを取り付ける	18
9 コードを処理する	21
10 車のエンジンをかけて、ナビを起動させる	21
故障かな?と思ったら	22
コネクター接続のチェックポイント	23
電源コード接続のチェックポイント	23

警告

安全のために

警告表示の意味

「取付接続説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



禁止

分解禁止



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止

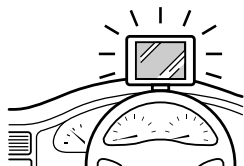


前方の視界を妨げる場所に取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



禁止



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



禁止



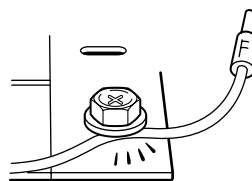
運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- ・コード類はまとめる。
- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

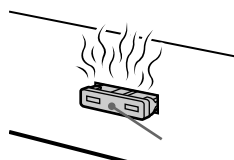
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業すると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



禁止

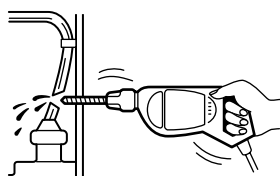


パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



禁止



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

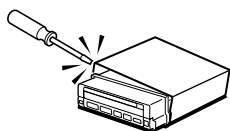
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

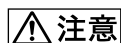


リモコンはリモコンホルダーに取り付ける

リモコンがブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故や怪我の原因となります。



禁止



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付け

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



禁止

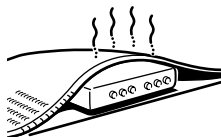


本機の通風口や放熱板をふさがない

フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。



禁止

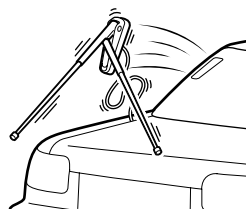


TVアンテナは確実に両面テープで固定する

車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



禁止



付属の部品で正しく取り付ける

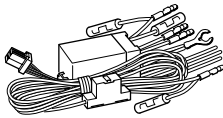
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

付属部品の確認

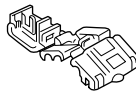
この「取り付けと接続」に記載されている取り付け先または接続先の機器は、すべて別売り品です。
ただし付属品は除きます。

ナビ本体

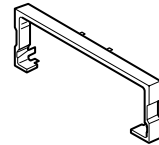
① 電源コード(本体用)



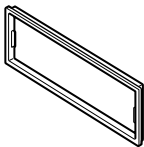
② 圧着式コネクタ(×3)



③ フロントパネルプレート



④ 日産車用プレート



⑤ 両面テープ(プレート用)



⑥ ④K5×6(×4)



⑦ ④T5×6(×4)

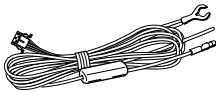


⑧ ワッシャー(φ6)(×2)



TVチューナーユニット

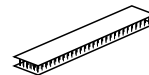
⑨ 電源コード



⑩ 接続延長ケーブル(3m)



⑪ 面ファスナー

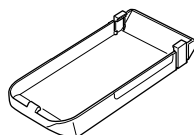


リモコン

⑫ リモコン



⑬ リモコンホルダー

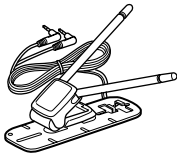


⑭ 両面テープ

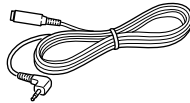


TVアンテナ

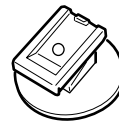
⑮ TVアンテナ(左1、右1)



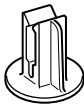
⑯ アンテナ延長コード(2m)



⑰ 台座(×2)
(車内取り付け専用)



⑱ クリップ(×4)
(車内取り付け専用)



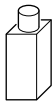
⑲ 防水ゴム(×2)



⑳ 両面テープ(×2)



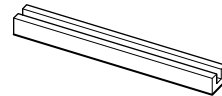
㉑ クリーナー液



㉒ 不織布



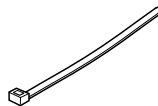
㉓ コードガイドレール(×2)



㉔ コードクランパー(×6)

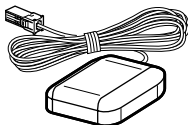


㉕ クランパー

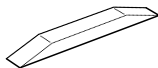


GPSアンテナ

㉖ GPSアンテナ



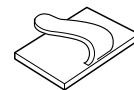
㉗ クッション



㉘ 取り付け板

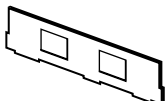


㉙ コードクランパー(×10)



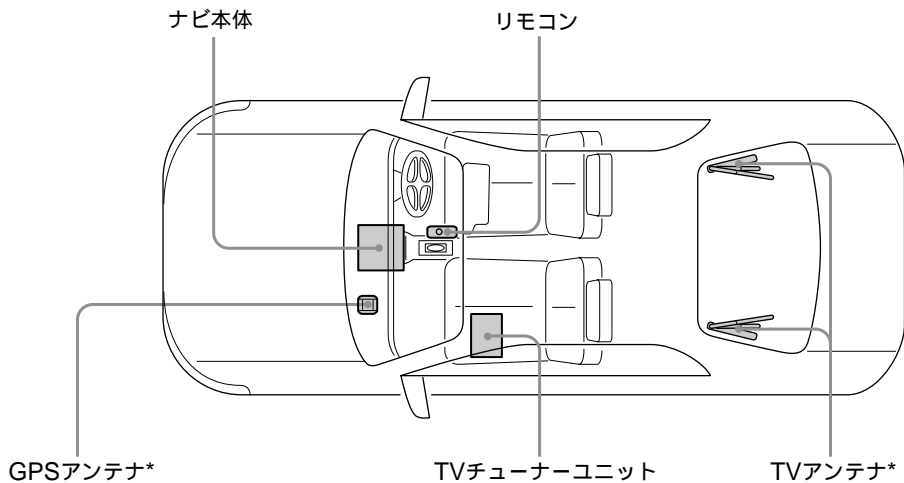
車両取り付け用

㉚ 型紙



取付場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各ユニットを配置してください。



* GPSアンテナとTVアンテナは、車外に取り付ける場合と、車内に取り付ける場合の、2通りの方法があります。(16～20ページ)

ご注意

次のような場所への取り付けは避けてください。

- 高温になるところ
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ

1

イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

2

仮置きして(上図参照) ケーブルの長さやモニター的位置などを確認する

ナビ本体を取り付ける

取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また
運転中極端に視線を動かさずにすむ
ようにセンターコンソールやイン
ダッシュの高い位置に取り付けてく
ださい。2DINサイズの場合は、必ず
上段に取り付けてください。

取付角度

水平から25°以内で取り付けてください。25°以上傾けて取り付けるとモニターの設定/収納ができなくなるなどの原因となります。

型紙③④の使いかた

型紙③⑩は、本機のパネルの形状に合わせてあります。車両側のクラスターパネルを加工する際、確認用に使用していただくと便利です。中心の2つの穴に指をかけ、「UPPER」側を上に出します。

本体を取り付ける前に

本機は安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと事故の原因となり大変危険です。

取り付ける前に、必ず以下の事項を確認してください。

- ・モニターをセットしたときに、エアコンの吹き出し口の近くの場合は吹き出し口を閉じてください。
- ・本機はイグニッションキースイッチにアクセサリ（ACC）ポジションのない車には取り付けられません。
- ・モニターをセットしたときに、ハザードランプスイッチなどがモニターの後ろに隠れずに、すぐに押せることを確認してください。
- ・本機（モニター）は極端に低温または高温になる場所には取り付けしないでください。（キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。）また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。

センターコンソールやインダッシュに取り付ける 国産車に取り付ける場合

トヨタ車や日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後に本機を取り付けられます。ただし、車種（一部のトヨタ車、スバル車など）によっては、本機のモニターローディング機構の動作寸法より小さな場合があります。

マツダ車の場合、別売り取り付けキットGMD-236をご使用することをおすすめします。

モニターをスムーズに出し入れさせるために、いかなる車種でもクラスターパネルが下記の寸法通りになっているか必ず確認してください。寸法通りになっていない場合、下記寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルを加工してください。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）

外国車/輸入車に取り付ける場合

欧州車またはフォード車の場合、別売り取り付けキットGMD-236をご使用することをおすすめします。

モニターをスムーズに出し入れさせるために、いかなる車種でもクラスターパネルが下記の寸法通りになっているか必ず確認してください。寸法通りになっていない場合、下記寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルを加工してください。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）

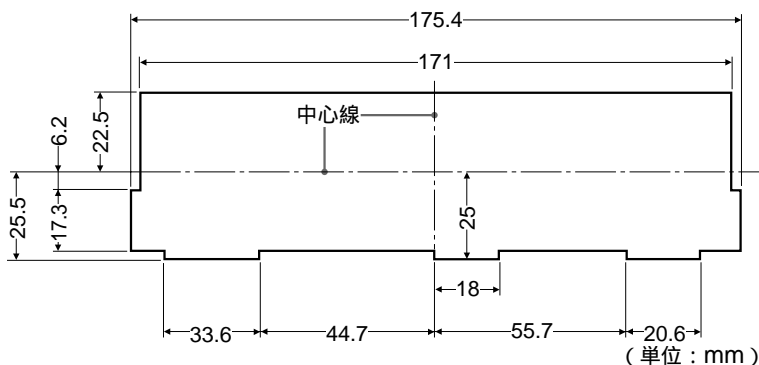
 ご注意

右図のイラスト寸法と合わないまま本機を取り付けると、モニターがスムーズに立ち上がらないなどの不具合があることがあります。

そのときは、どこの箇所が寸法図通りになっていないのかをもう1度確認して、クラスターパネルを加工してください。車種によっては、別売りの取り付けキットをご使用ください。

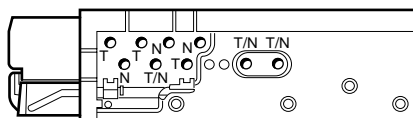
(詳しくはご購入の店舗にご相談ください。)

クラスターパネル寸法図(型紙^{③〇}を参考にしてください)



取り付け時のご注意

- 取り付けは慎重に行ってください。本機を落下させたり、ぶつけたり、無理な取り付けを行いますとシャーシが歪んでモニターのローディング機構が動作しなくなり、故障の原因となります。
- 純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されている「T」(トヨタ車/三菱車用)、「N」(日産車用)、「T/N」(トヨタ車/三菱車/日産車共用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ⑥または⑦で取り付けてください。

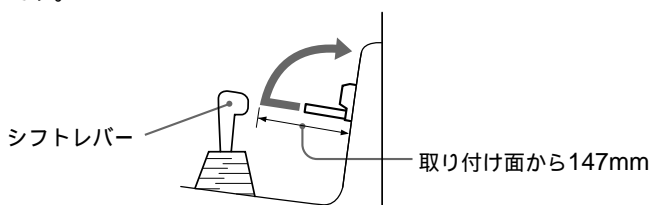


- 欧州車、マツダ車、フォード車用取り付け金具GMD-236を使用する場合は、付属のネジ⑥とワッシャー⑧で金具を取り付けてください。
- モニターのセット/収納のためには、シフトレバーを一番前にした状態からナビシステムの取り付け面まで147mm以上の間隔が必要です。



ご注意

若草色コードを接続しないとサイドブレーキを引いたときモニターの開閉動作はしません。



- シフトレバーの位置によっては、モニター部が当たる場合があります。シフトレバーを一番前にしたときに運転の操作の妨げにならないことを確認してください。
- 本機と他のマスターユニット(1DINサイズ)を重ねて取り付ける場合は、本機を上段に取り付けます。

本体を取り付ける

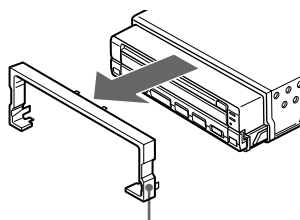
1 純正カーオーディオを取り外す

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

2 本機を仮置きする

- 本機の後部が車両側にあたるときや、モニターをセットしたときにモニターの上背部がセンターコンソールにあたりそうときは、取り付け位置を移動させてください。本機は14mm前方へ移動させて取り付けることができます。前方へ取り付けるときは、フロントパネルプレート③を取りはずしてください。

フロントパネルプレートを取りはずす場合



フロントパネルプレート③

- 本機を14mm前方へ移動させて別売りのマスターユニット(1DINサイズ)と重ねて取り付ける場合、車種によってはマスターユニットの操作が困難になることがあります。操作しやすいかどうか、必ず取り付ける前に確認してください。



ご注意

- 本機のフロントパネルのボタンなどを押したり、強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上に物をはさみ込まないでください。

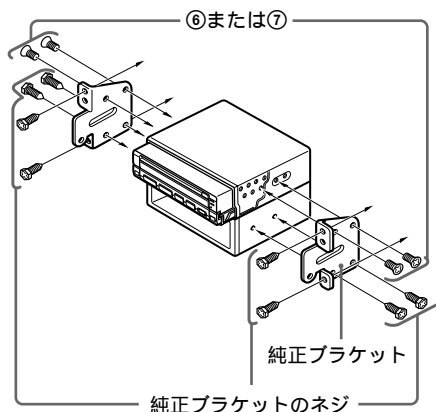
3

本体を取り付ける

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

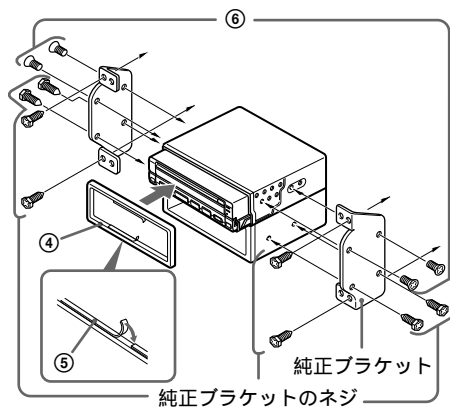
トヨタ車/三菱車の場合(イラストはトヨタ車の場合)

本機側面の「T」(トヨタ車/三菱車用)の刻印のあるネジ穴に純正ブラケットの取り付けネジ穴を合わせて付属のネジで取り付けてください。トヨタ車に本機を取り付ける場合は、皿ネジ⑥をご使用ください。三菱車に本機を取り付ける場合は、トラスネジ⑦をご使用ください。



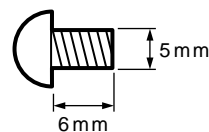
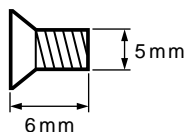
日産車の場合

本機側面の「N」(日産車用)の刻印のあるネジ穴に純正ブラケットの取り付けネジ穴を合わせて付属の皿ネジ⑥で取り付けてください。



* 取り付けネジは、必ず付属の皿ネジ⑥またはトラスネジ⑦で取り付けてください。他のネジで取り付ける場合は、必ず次のサイズのものをお使いください。

これらより長いネジを使うと、ナビ本体内部が破損するなど故障の原因となります。



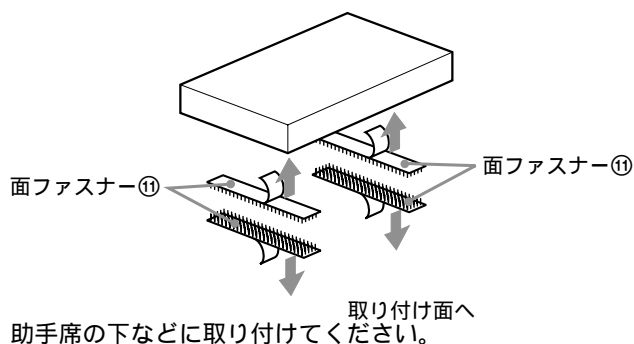
また、車両側の純正ブラケットを通さずに本体へ直接ネジをしめつけると故障の原因となります。

TVチューナーユニットを取り付ける

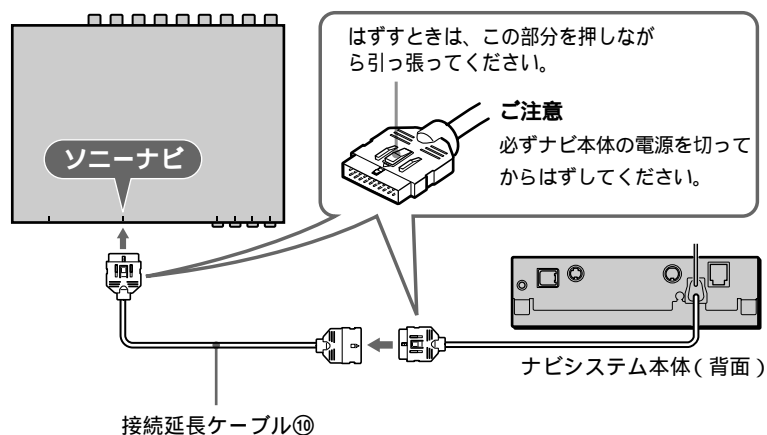


- ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- ・次のような場所への取り付けは避けてください。
 - － 高温になるところ
 - － 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
- ・面ファスナーは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

面ファスナー⑪でカーペットなどに取り付ける



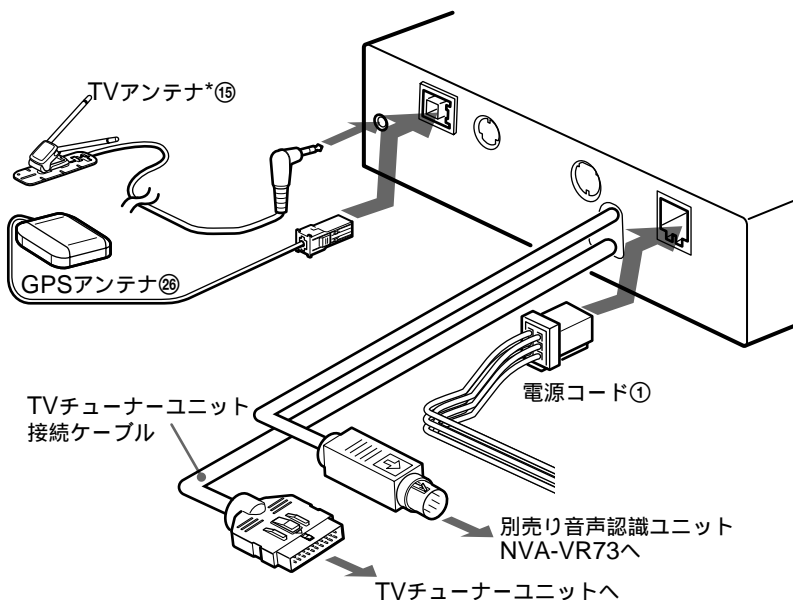
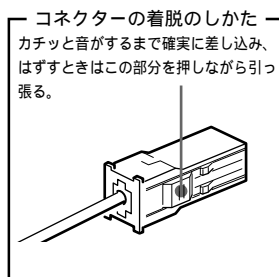
TVチューナーユニットをトランクなどに取り付ける場合
TVチューナーユニットをトランクなどナビ本体から離れた場所に取り付けるときは、付属の接続延長ケーブル⑩をナビ本体のTVチューナーユニット接続用ケーブルに接続してからTVチューナーユニットに接続してください。



3

ナビ本体と接続する

「[6]車両側と接続する(接続図全体)」(14～15ページ)もご覧ください。



●●● ご注意

* TVアンテナの4系統のアンテナ入力の中の1本を使用してください。接続しないと、FM-VICSやFM多重放送を受信することができません。

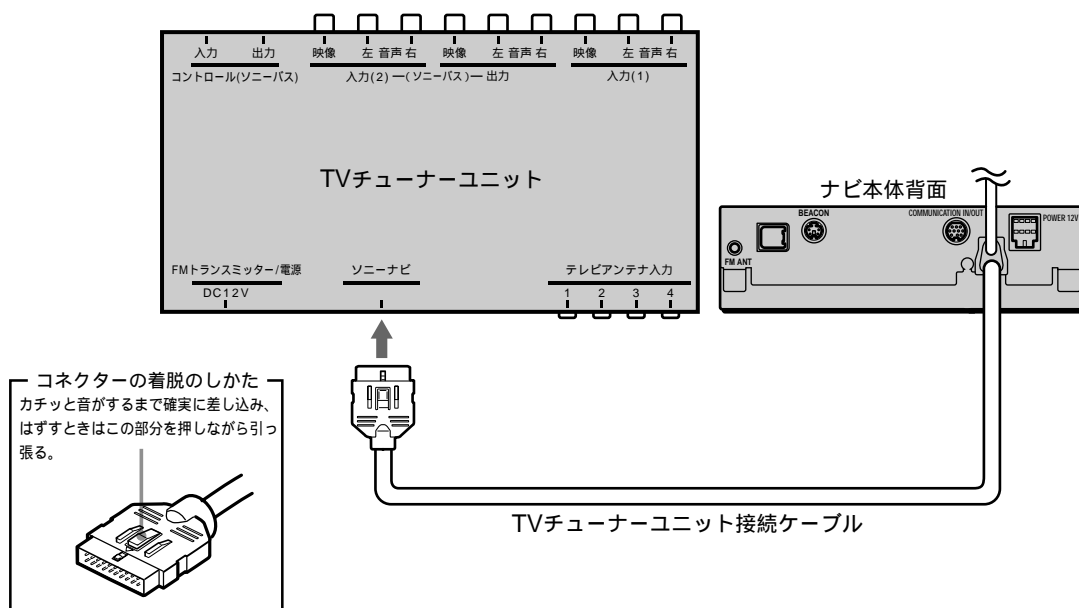
詳しくは、「TVアンテナを取り付ける」(18ページ)をご覧ください。

また、FMアンテナVCA-14(別売り)なども接続できます。

4

TVチューナーユニットと接続する

「[6]車両側と接続する(接続図全体)」(14～15ページ)もご覧ください。



リモコンを取り付ける

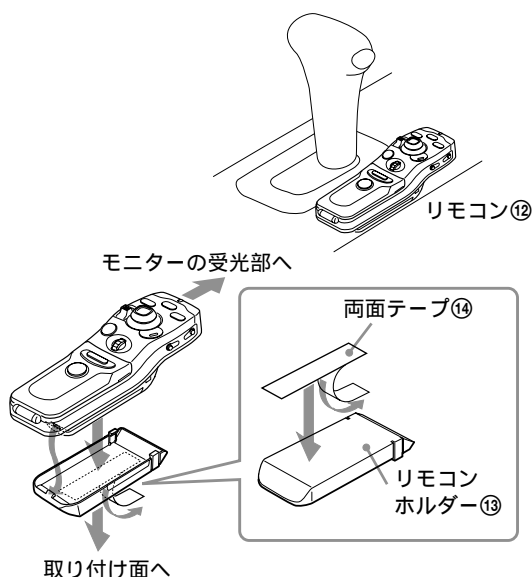


ご注意

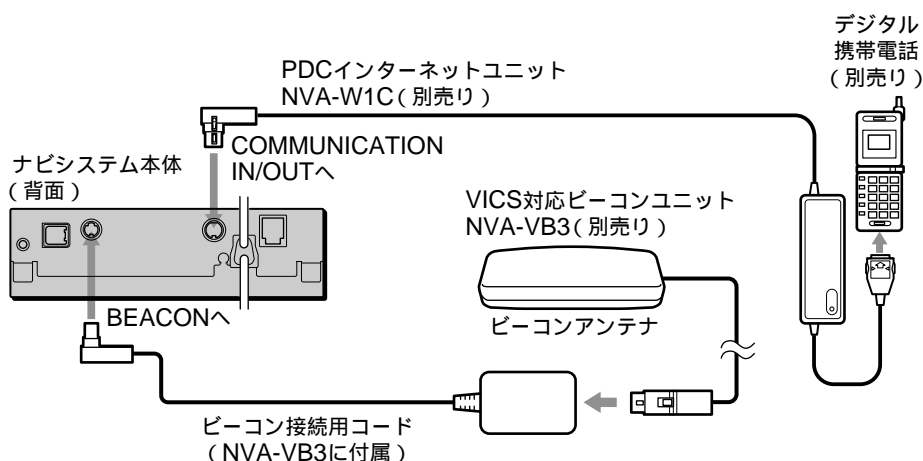
- ・次のような場所への取り付けは避けてください。
 - ーシフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになるところ
 - ー運転席、助手席のシートの前、後、上下など可動部の妨げになるところ
 - ーダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ
- ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- ・直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。
- ・リモコンは必ずリモコンホルダーに取り付けてください。
 - ーリモコンがブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故や怪我の原因となります。

両面テープ⑭で、リモコンと受光部が向き合うよう
に取り付ける

- シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。
- 両面テープを取り付ける前に、リモコン操作が正しくできることを確認してください。



別売機器との接続について



● ご注意

- CD-ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A/165Aは接続できません。
- 一部のデジタル携帯電話は使用できないことがあります。詳しくはお買い上げ店にご相談ください。
- PDCインターネットユニットの接続は、ナビシステム本体をTVチューナーユニットに接続した後に行ってください。

各コードの接続について

詳しくは、「**6**車両側と接続する(接続図全体)」(次ページ)をご覧ください。



ちょっと一言

右表にある車両側の各コードの位置は、取り付けの車両によって異なりますので、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(裏表紙参照)をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

正確な測位、または安全のため、圧着式コネクタを使用して各コードを接続します。各コードの組み合わせについては、以下の表を参照してください。次ページの「**6**車両側と接続する(接続図全体)」もあわせてご覧ください。

(本機の接続コードの色は、JEITAコードカラーに準拠しています。)

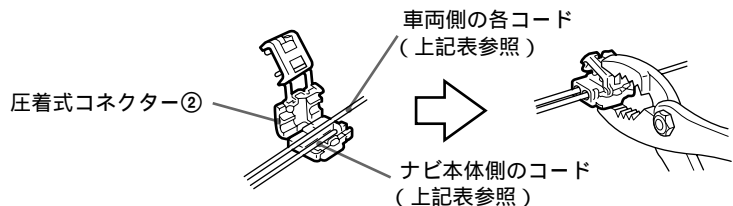
ナビ本体側	車両側
桃色(車速信号入力)コード	車速センサーコード
紫/白色(バック信号入力)コード	バックランプの電源コード
若草色(パーキングブレーキ)コード	パーキングブレーキスイッチコード



ご注意

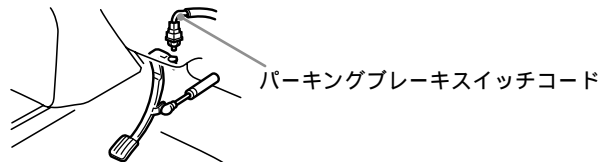
車両側の各コードが細い場合、接触が不充分になることがありますのでご注意ください。

圧着式コネクタ②の使いかた



パーキングブレーキスイッチコードの位置について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。パーキングブレーキがフットブレーキの場合



パーキングブレーキがハンドブレーキの場合



ナビ機能をよりよく活用するためのコード

水色コード(ATT出力端子)

ソニー製カーオーディオでATT入力端子のある製品に接続すると、設定によりナビの音声ガイド時にカーオーディオの音量が自動的に下がります。この機能を使用しない場合、接続する必要はありません。

紫/白色コード(バックランプ電源コード接続用)

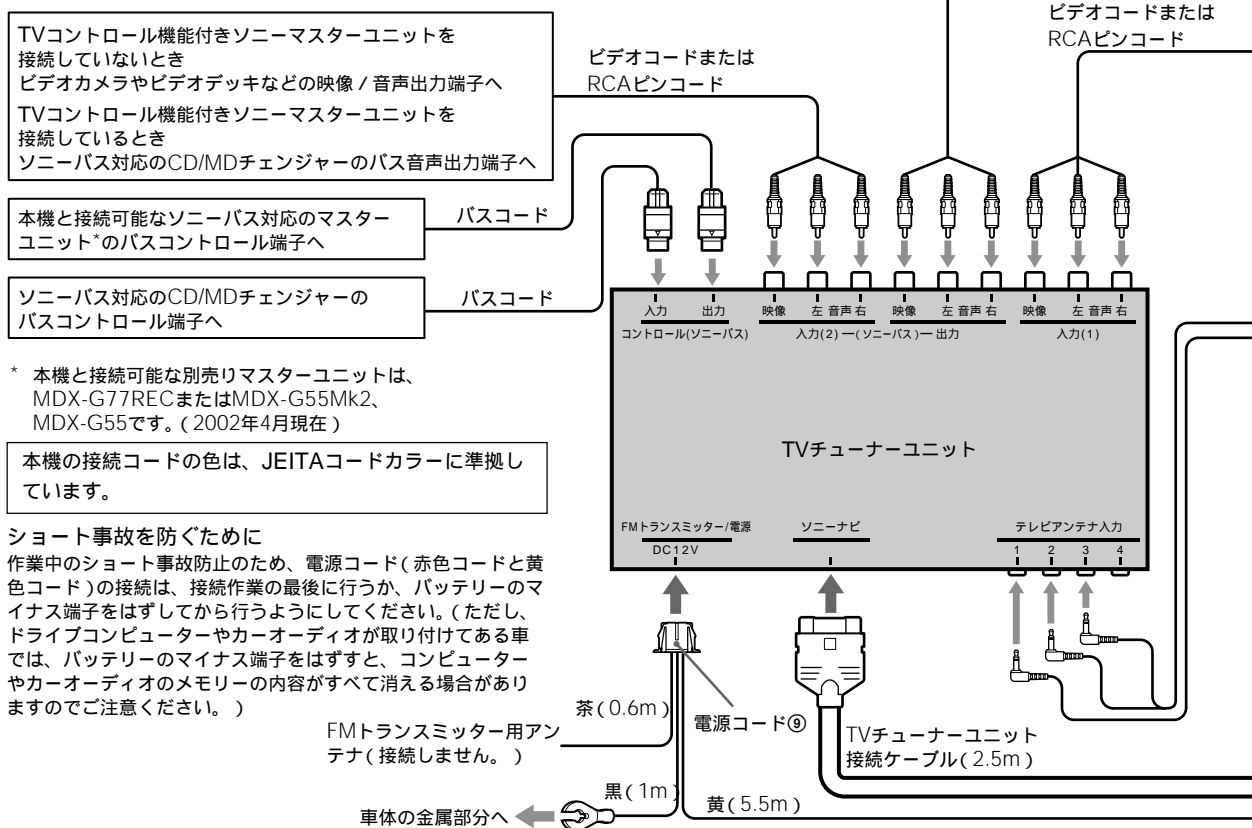
バックランプ電源コードに接続すると、車両がバックしたときに生じる自車位置の誤差をなくすることができます。

車両側と接続する（接続図全体）

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

前ページ、「各コードの接続について」もご覧ください。

取り付ける車両の詳しい資料については、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(裏表紙)をご利用することもできます。



次のコードは必ず接続してください。

接続しないと、感電や故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

- ・ 若草色コードを車両側のパーキングブレーキスイッチコードに接続する。
- ・ 黄色コードを車両側のバッテリー電源へ接続する。
- ・ 赤コードを車両側のアクセサリ電源へ接続する。
- ・ 黒コードを車体の金属部分へ接続する。
- ・ 桃色コード(および桃色延長コード)を車両側の車速センサーコードに接続する。

* 黄色と赤色コードを逆につなぐと、メモリーが消えるので注意してください。

* 若草色コードは、必ず車両側のパーキングブレーキスイッチコードに接続してください。若草色コードを接続し、必ず車を止めてパーキングブレーキを引いてからでないと、モニターの開閉ができません。

車両側のバックランプ電源コードと車速センサーコードについて、詳しくは「ソニーFAXインフォメーションサービス」(裏表紙)をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

ヒューズを交換するときは、配線などをチェックして、原因を確認し適切な処理を行ってから、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

次のご注意を守ってください。

守らないと感電や故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

- 保護素子は正しい向きで取り付け。
- 圧着式コネクタは保護素子より車両側に近い位置にする。

FM-VICSやFM音声多重放送を受信するためにはFMアンテナが必要です。

電波の強い地域では、TVアンテナの4系統のアンテナ入力のうち1本を使用することができます。

電波の弱い地域では、FM/AMアンテナ VCA-14(別売り)を使用してください。

 ご注意

- TVアンテナはFM/AMアンテナから離して取り付けてください。
- パーキングブレーキスイッチコードに接続しないこと、ナビゲーションシステムが走行中と誤ってしまい、設定や登録などの複雑な操作やテレビ/ビデオ画像の表示ができなくなります。
- イグニッションスイッチにアクセスリージョンのない車には取り付けられません。

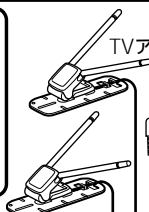
FMトランスミッター用アンテナは車載FM受信機でトランスミッターの電波を受信するときに使用します。引き延ばしてノイズの少ない位置に固定してください。設置する際は、TVアンテナコードから離してください。TVアンテナコードに近づけて設置すると、TVの受信に影響を与えることがあります。

シガーライターソケットから電源を取らないでください。
必ず付属の電源コードをお使いください。

TVコントロール機能付きソニーマスターユニットを接続していないとき
後席用テレビや後席用モニターなどの映像 / 音声入力端子へ
TVコントロール機能付きソニーマスターユニットを接続しているとき
ソニーバス対応のマスターユニットのバス音声入力端子へ

ビデオカメラやビデオデッキなどの映像 / 音声出力端子へ

TVアンテナコ・ド接続の際は
クランパ・㊸でコ・ドを結束してください。



必要なときはここを切つてのばす。

ご注意

- TVチューナーユニットと別売りの音声認識ユニットの接続ボックスなどは、できるだけ互いに離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。
- TVアンテナはFM/AMアンテナから離して取り付けてください。
- ATISユニットXA-160A/165Aは接続できません。
- FMトランスミッターの電波を受信時、FMラジオよりノイズが出る場合は、TVチューナーユニットをノイズが少なくなる場所へ配置してください。

RFモジュレーター(別売り)を接続するとき

カーオーディオのFM/AMアンテナコネクターへ

RFモジュレーターCDX-555RFなど

FM/AMカーアンテナより (0.14m)

黒 (0.3m)

アクセサリ(ACC)電源へ
(必ず先に、上のカーオーディオのアンテナコネクターへの接続をしてください。)

赤 (0.3m) ヒューズ

イルミネーション電源へ
イルミ接続端子 橙 / 白 (0.3m)

マスターユニットを接続したときには
取り付けと接続が終わったら、車のイグニッションスイッチをACCまたはONの位置にして、ナビシステムのリセットボタンを押した後にマスターユニットのリセットボタンを押してください。

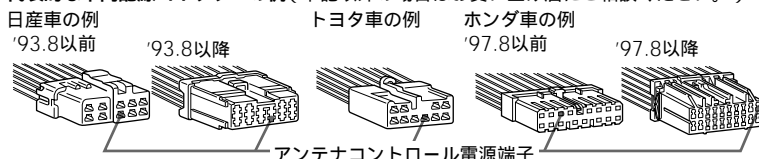
車両側のパワーアンテナコントロール電源コード(パワーアンテナコントロールリード)

車両側の配線コネクターがギボシ加工されていないときは、右図のようにアンテナコントロール電源端子のコードを切断し、市販のギボシ端子を取り付けてください。(車両側にパワーアンテナコントロール電源がない場合や、手動式のロッドアンテナの場合は接続の必要はありません。)

お手持ちのカーラジオの
パワーアンテナコントロール電源コード(パワーアンテナコントロールリード)

お手持ちの
カーラジオ

代表的な車両配線コネクターの例(下記以外の場合はお買い上げ店にご相談ください。)



別売り音声認識ユニット
NVA-VR73へ

GPSアンテナ接続コード(5m)

GPSアンテナ㊸

アンテナ延長コード
(2m) ㊸

TVアンテナ ㊸

FMアンテナは、FM-VICS
やFM多重放送を受信するのに
重要です。

FMアンテナVCA-14(別売り)など

アンテナ分配器XA-48FM(別売り)

GPS ANT

BEACON

COMMUNICATION IN/OUT

POWER 12V

FM ANT

ナビシステム本体(背面)

電源コード㊸

バッテリー電源へ 黄 (0.15m) フィルター (1m)

黒 (0.7m)

水色 (0.45m)

赤 (0.45m) ヒューズ

車両側パーキングブレーキスイッチコード 若草色 (2.5m)

バックランプの電源コード(+12V) 紫 / 白 (5.5m) 保護素子

桃色 (1.5m) 保護素子

車速センサーコード 最大許容電流0.1A 青 (0.45m)

保護素子

●●● ご注意

- 取り付けるときは、車のボディを傷付けないように静かに置いてください。
- コードを車外でたるませたままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー⑳をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、GPSアンテナを外してください。GPSアンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへの直流電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPSアンテナおよびナビ本体の故障の原因となります。

アルミやFRPボディの車に取り付ける場合

アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

GPSアンテナの塗装について

GPSアンテナは車のボディーカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

●●● ちょっと一言

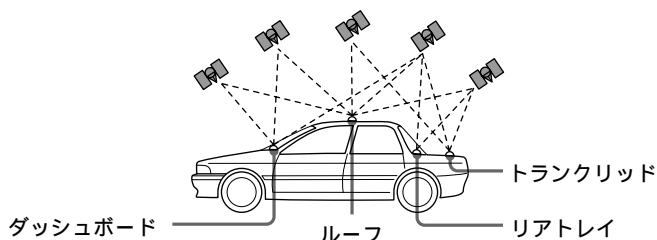
GPS衛星からの電波を遮るものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。車内に適する場所がない場合は、車外に取り付けてください。

●●● ご注意

一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、1度GPSアンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

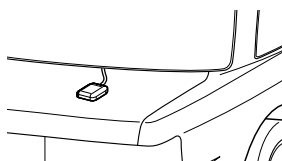
車外に取り付ける場合

GPSアンテナ⑳は、磁石で取り付けます。GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車外のルーフやトランクリッドなどに、水平に取り付けてください。



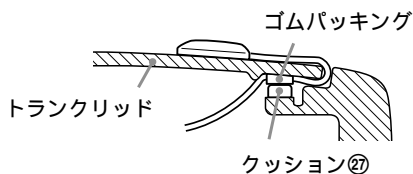
1 トランクリッドなどの上に取り付ける

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



2 トランクリッドの裏側にクッション㉗を取り付ける

雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを開めたときに、ゴムパッキングの上にクッション㉗が当たるように取り付けてください。



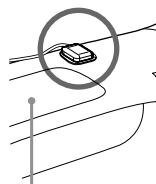
車内に取り付ける場合

ダッシュボードやリアトレイに取り付けます。平らな位置に、GPSアンテナが水平になるように取り付けてください。

必ず取り付け板㉘を使用して取り付けてください。

助手席エアバッグの妨げにならないように取り付けてください。

モニターに近づけて設置すると、GPSの受信状態が不安定になることがあります。



助手席エアバッグ

取り付ける前に

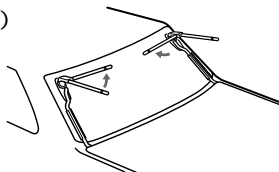
- 必ずリアウィンドウに取り付けてください。
- 車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離してください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受ける場合があります。
- エレメントが車体より出ない位置を選んでください。歩行者の目などに当たるなど大変危険です。
- 湿気の高いとき（雨、霧など）は、取り付け面に十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれるおそれがあります。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドデフォグガー、ヘッドライナーなどを利用し、温めてから貼り付けてください。

TVアンテナの取り付けについて

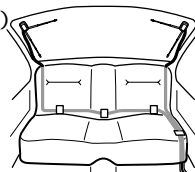
なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラスの曲面が大きいとはがれるおそれがあります。

TVアンテナの左右を確認して取り付けてください。

（車外）



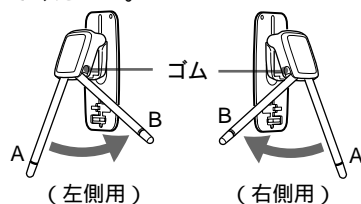
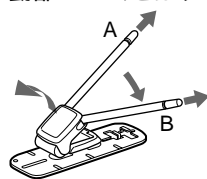
（車内）



TVアンテナの使いかた

TVアンテナ本体を起してから、エレメントAおよびBの各段をいっぱいにのぼし、エレメントBを内側へ倒します。（取り付け場所によってはTVアンテナの性能が劣化する場合があります。）

車内に取り付ける場合、視界をさまたげないように、TVアンテナ可動部のゴムをはずして90°に広げてください。



TVアンテナの取り付け

あらかじめ、クリーナー液②①と不織布②②で、貼り付け面の油やワックス、ほこりなどを拭きとっておきます。

クリーナー液が乾いたら水で洗い流し、乾いた布で乾拭きしたあと、以下の手順で取り付けてください。

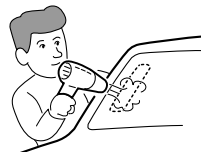
取り付けるときは

雨や霧の中では取り付け作業を行わない

湿気の多いときは、取り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると接着力が低下してはがれる危険があります。



取り付け面の温度が低いとき（外気温20℃以下）は、ドライヤーなどで温めてから取り付ける
車内ヒーターやリアウィンドウデフォグガーなども効果があります。



お使いになるときは

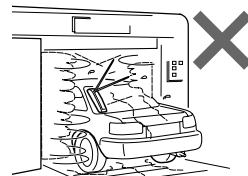
取り付けから24時間以内は次のことを守る

湿気の多いときは、取り付け面を十分に乾燥させてください。

- 水をかけない
- 雨にあてない
- アンテナに無理な力を加えない



自動洗車機は使用しない

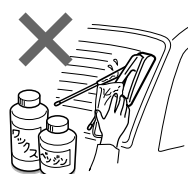


走行前に取り付け状態を点検する

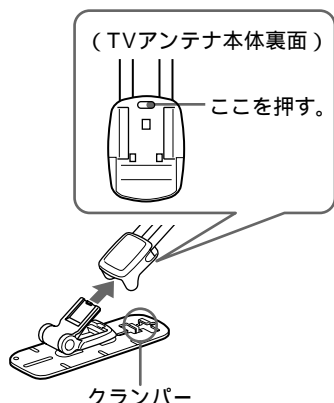
- ネジがゆるんでいないか
- 取付金具がはがれていないか



アンテナ本体や取付金具、コード類の変形や破損を防ぐため、必ず水で拭く。薬品類では拭かない



TVアンテナをクランパーからはずす場合



●●● ご注意

- 車外に取り付けた場合、洗車機にかけるときは、必ずTVアンテナをはずしてください。
- できるだけ平らな場所に取り付けてください。ガラスの曲面が大きいとはがれる危険があります。

車外に取り付ける場合

車外に取り付けた場合に、盗難、いたずらなどを防止するために、TVアンテナ⑮を取り外し・取り付けできる構造になっています。ただし、TVアンテナコードをTVアンテナ⑮のクランパーに差し込んでいるときは、必ずコードをクランパーからはずしてください。

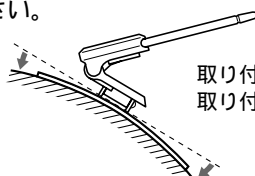
1 不織布(付属)にクリーナー液(付属)を染み込ませて貼り付け面に付着している油膜やワックス、ほこりなどの汚れを拭きとる

クリーナー液が乾いたら水で洗い流して乾いた布で乾拭きをしてください。



2 TVアンテナ⑮の台座を貼り付け面に合わせて折り曲げる

取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。

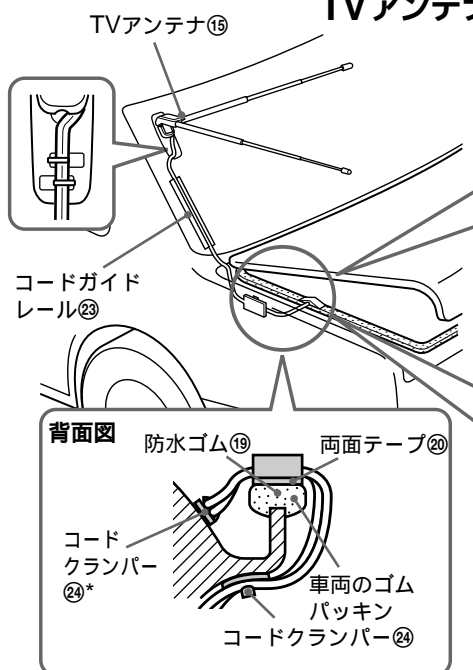


3 取り付け金具のはくり紙をはがして貼り付け、指で押し付け密着させる

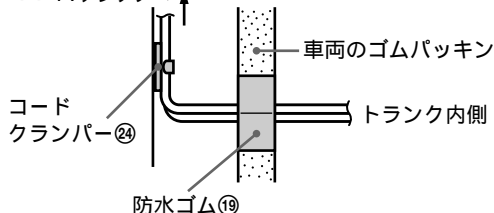
接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。



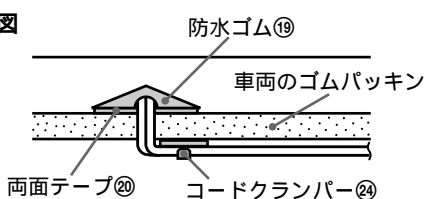
TVアンテナコードをまとめる



上面図 TVアンテナへ



側面図





* このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因となります。

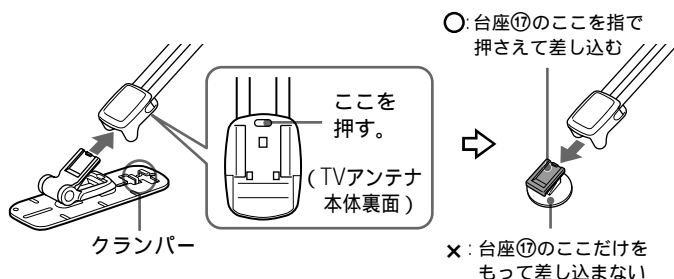
- ・24時間はTVアンテナに水をかけたり、雨にあてたり、無理な力を加えないでください。
- ・走行前に、確実に固定されていることを必ず確認してください。
- ・取り付け後は、取り付け状態をときどき点検してください。
- ・TVアンテナ本体、エレメント、コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなどで拭かないでください。(変形、破損の原因になります。)
- ・次のような場所では、映りにくくなります。
 - 1.ビルとビルの間
 - 2.高压線、送電線付近
 - 3.飛行機が近くを飛んでいる場合
 - 4.電車が近くを走行している場合
 - 5.山中や放送局から遠い場所
 - 6.トンネル内
 - 7.ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

車内に取り付ける場合

あらかじめ、TVアンテナコードがTVアンテナ⑬の台座のクランパー（下図参照）に差し込まれていないか確認してください。差し込まれている場合は、必ずコードをクランパーからはずしてから、以下の手順を行ってください。

1 台座を車内取り付け専用の台座⑰に付け換える

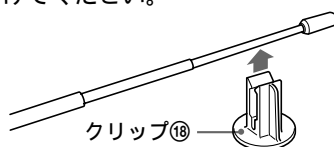
下図の台座の頭の部分(「」の部分)を指で押さえて、TVアンテナを差し込んでください。
台座の貼りつけ部分(「」の部分)だけを持ってTVアンテナを差し込むと、台座を破損するおそれがあります。



カチリと音がするまで差し込んでください。

2 TVアンテナの先端にクリップ[®]を取り付ける

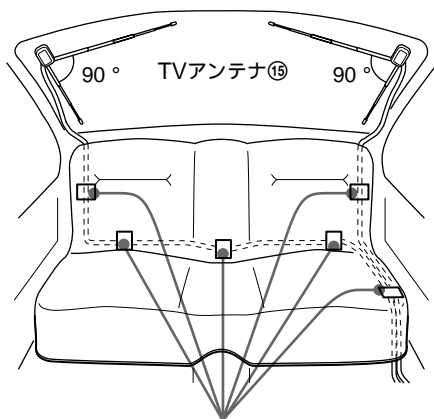
TVアンテナを引き延ばして、先端のプラスチックの根元の金属部分に取り付けてください。



3 台座⑰とクリップ⑱のはくり紙をはがし、取り付け面に貼り付ける

接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

TVアンテナコードをまとめる



シート下にテープで固定する

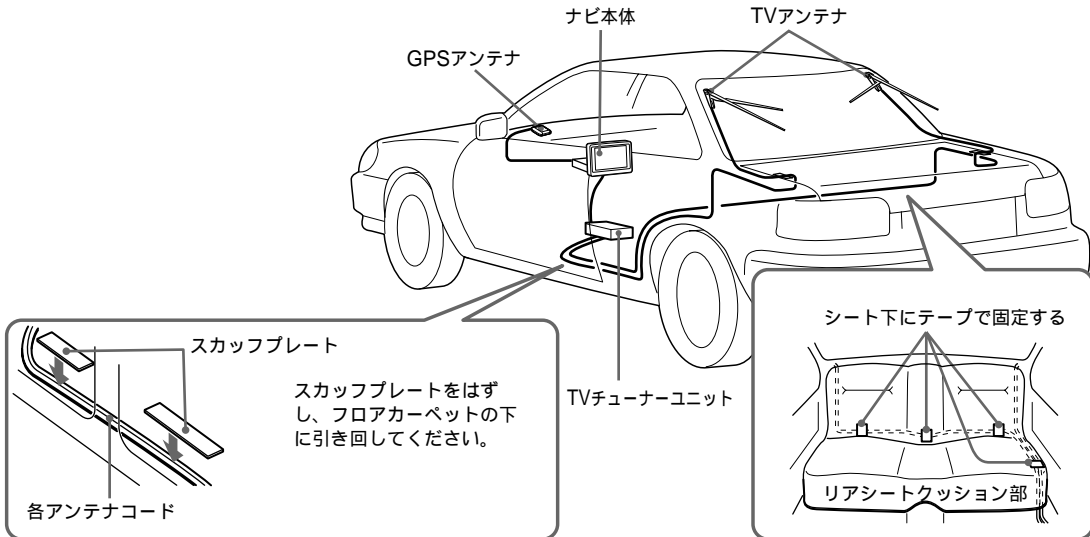
 ご注意

- 左右のTVアンテナは、できるだけ長くのばしてください。
ただし、左右のTVアンテナが、お互いに重なったり接触しないようにしてください。
- 視界をさまたげないように、TVアンテナ可動部のゴムをはずして90°に広げてください。(「TVアンテナの取り付けについて」18ページ参照)
- 車内取り付け専用の台座⑦は、貼り付け部分だけをもって付け換えないでください。台座を破損することがあります。

コードを処理する

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の妨げにならないようにまとめてください。

コードがシフトレバーなどにかかると、非常に危険です。また、TVチューナーユニット接続ケーブルは、ナビ本体からできるだけ離してください。近くに設置すると、テレビ画面にノイズが発生することがあります。



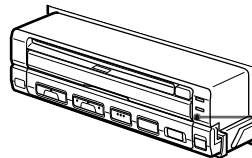
10

車のエンジンをかけて、ナビを起動させる

1 車のエンジンをかける

2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する

3 電源を入れ、ナビ本体のリセットボタンをつまよう
じの先などで押す



リセットボタン
必ず車のエンジンを
かけてから、つまよ
うじの先などで押し
てください。

4 地図ディスクを入れる

5 OPEN / CLOSEボタンを押し、モニターを立ち上げる



ご注意

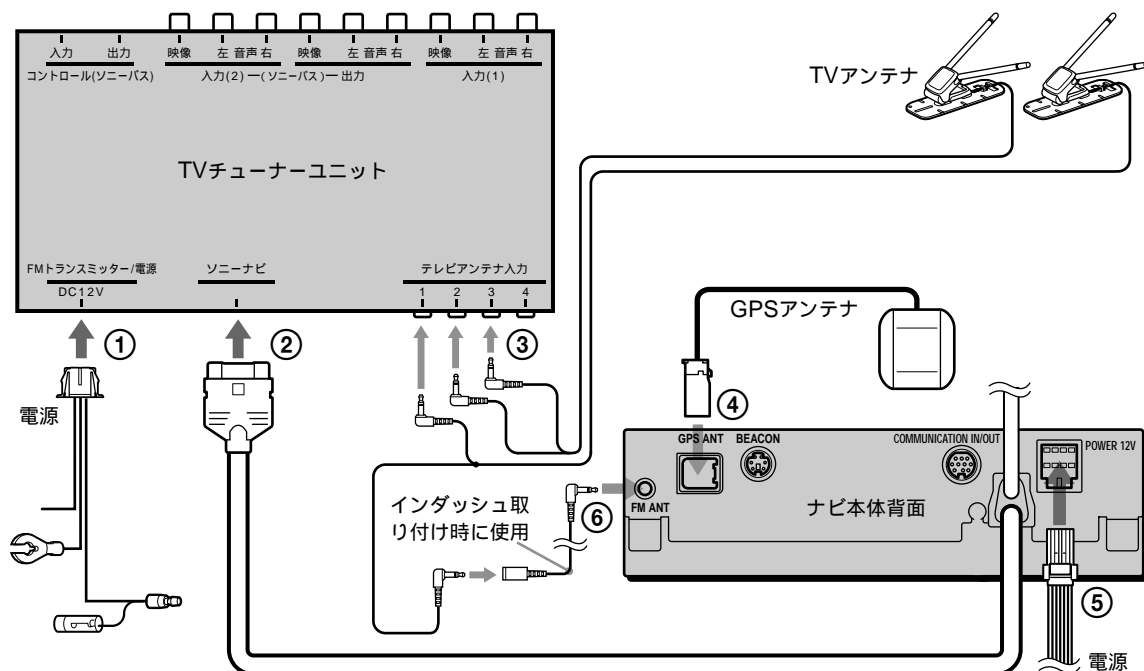
- ソニーバス対応のマスターユニットを接続している場合は、ナビシステムのリセットボタンを押した後に、マスターユニットのリセットボタンを押してください。
- モニターが立ち上がらない場合は、パーキングブレーキへ若草色のコードが接続されていることを確認してください。
- モニターはエンジンをかけサイドブレーキを引かないと開閉動作しません。

故障かな？と思ったら

症状	原因および処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリー電源(⊕BAT)、アクセサリ電源(⊕ACC)、アース(GND)が正しく接続されていない。「接続のチェックポイント」(次ページ)を参照し、接続を確認してください。 ・ 各コネクタが確実に差し込まれていない。「接続のチェックポイント」(次ページ)を参照し、6か所の接続ポイントをすべて確認してください。
テレビが映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビアンテナが接続されていない。 テレビアンテナを接続してください。(18ページ参照) ・ TVチューナーユニットとナビ本体のコードが接続されていない。「コネクタ接続のチェックポイント」(次ページ)を参照し、TVチューナーユニット接続コードを接続してください。 ・ 若草色コードと車両側のパーキングブレーキスイッチコードが接続されていない。接続してください。
画面がながれる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各コネクタが確実に差し込まれていない。「コネクタ接続のチェックポイント」(次ページ)を参照し、接続ポイントをすべて確認してください。
色が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各コネクタが確実に差し込まれていない。「コネクタ接続のチェックポイント」(次ページ)を参照し、接続ポイントをすべて確認してください。
VICS情報が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナビ本体にFMアンテナを接続していない。 FMアンテナを接続してください。(14～15ページ参照)
モニターが開閉動作をしない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若草色コードと車両側のパーキングブレーキスイッチコードが接続されていない。接続してください。 ・ サイドブレーキが引かれていない。 サイドブレーキを引いてください。 * 安全のためサイドブレーキを引いたときのみモニターの開閉動作を行います。走行中やサイドブレーキを引いていない状態では開閉動作を行いません。
自車位置がずれる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機のリセットボタンを押していない。 エンジンをかけた状態でリセットボタンを押してください。 ・ リセットボタンを押す時にナビ本体を動かした。 取り付けた状態でリセットボタンを押してください。

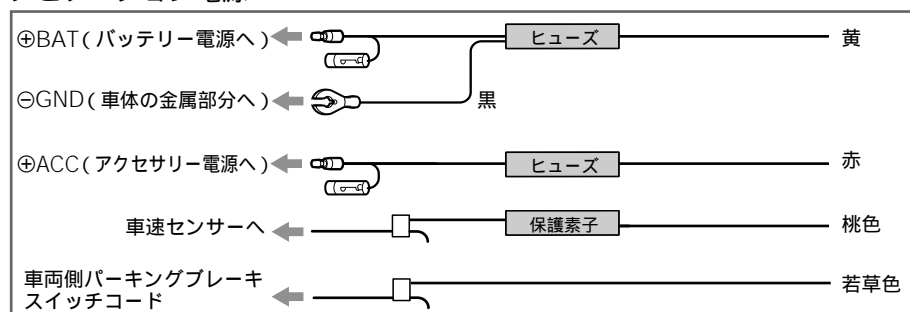
コネクター接続のチェックポイント

合計6か所の接続ポイントがあります。

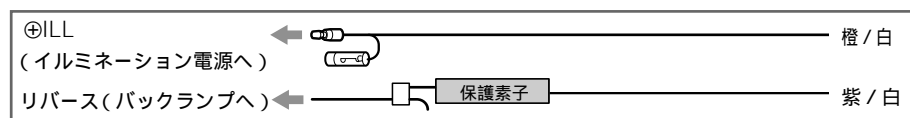


電源コード接続のチェックポイント

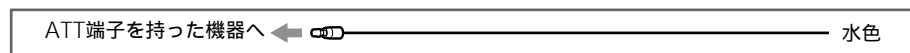
ナビゲーション電源



必ず接続してください。

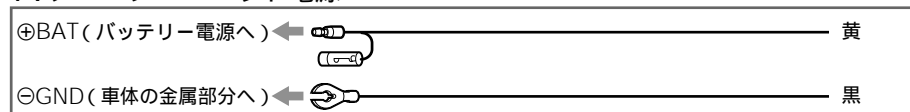


接続することをおすすめします。



必要の場合は接続してください。

TVチューナーユニット電源



必ず接続してください。

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内 (FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス

車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、
各種センサー位置等の資料

- インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信
- 資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

24時間
お手元のFAXで
資料が取り出せます

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客室相談センターへ

● ナビダイヤル  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311

● Fax 0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～

20:00、

土・日・祝日

9:00～

17:00

この説明書は再生紙を使用しています。